

なのはな

・・・雨の日でも散歩・・・

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
 npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

雨の季節ですね。

洗濯物は、乾かなく悩みの季節ですが、雨の音を聞いていると、ピチピチ、ザーザー、ポトンポトン、しとしと等などたくさんの音色が聞こえてきます。そんな暇がないとか、それは速さや落ちる場所が違うからだよ！な～んで野暮なことは言わず、ぼーとしながら雨の音を聞いて、どんな音が聞こえるのかなあと考えるのも素敵です。もしかしたら心の柔らかさと豊かさが溢れてくるかも・・・。

河崎道夫先生（前三重大・現高田短期大学教授・乳幼児心理）とお話したとき

子どもにとっての遊びの質に関わり「目的外使用が許されるもの」という話を伺いました。

これは、「椅子」「机」「ちゃわん」「お箸」・・・と子どもたちの生活の中には、「目的」をもって作られたものが多くあり、バスに乗るには、マートに行った時は・・・とたくさんのルールがあり、家庭や園そして社会の中で子どもたちは、その使い方や方法を学んでいきます。

しかし「あそび」には、「失敗も間違い」も「再生も破壊」もあり、子どもの持つイメージが自由に花咲き、夢中になる「集中心」、好奇心を掻き立てる「知的な力」も、なかまという「人間関係力」も溢れる世界です。

特に自然の中には、有機的な図形が溢れ、子どもの感性に働きかけてくる「目的外使用」が許される素材が溢れています。

散歩の大事さは、心を安定する事と言う人もいる（医学的にも）くらいです。雨の日、傘さして、雨を聞いて楽しむと、硬くなった心をほぐし。人間らしい心を思い出すかもしれません。

子ども心には負けますが、忙しくて心を滅びないように大人も試してみませんか？

（おか）

あおぞらだより

「おじゃまします！」**「おじゃましました！」

この言葉は、あおぞらキンダーガーデンの事務室に入る時の合言葉

子どもの施設の中にあるのですが（大人）を中心にした部屋だから入室には、ちょっとハードルが高いのです。勿論、慣れているというかルールが分かっている大きな子どもたちは、屈託がなく「お邪魔しまーす！！」と云ってくるのですが、お客さんがいたり、お金の計算などしている時などは「ごめんね。用事が終わったらまた、呼ぶね」等という事もあり「はい。分かった。また来るね」と戻っていきます。そんな姿を見ながら小さい子どもたちはこの部屋の「合言葉」を覚えていきます。初めは、ちょっとドキドキしながら・・・緊張しながらね・・・。

4月から5月

うさぎの「さくら」と「さくらんぼ」が小さくゲージのおうちで暮らしていた時は、たいようさんはもちろんのこと、うさちゃんを見に多くの子どもたちが、わいわいと賑やかで、大賑わいでした。そのうち、「あっちはうるさいから」と保育室から来て絵本を見たり「プンプン虫がいっぱいで、いなくなるまでここにいる！」と自主的に絵を書いたり「お手伝いある？」と印刷紙をお部屋に届けるお仕事を求めて来たりお部屋にある（絵カード）（電車と積み木）[絵書き]を目的に・・・と色々です。

そして、この頃の午後は、眠たくなったり、疲れたり、グズグズしたり・・・とちょっと休息の必要なにじさんの子ども達が「わいわい・ぎゅうぎゅう」と集まる場所になっています。

そんな子どもたちを見ているといつもは、見せない言葉や行動や関わりが見えてきて「子どもは、どんな時もどんな所でも大きくなっていくんだなー」と思うこの頃です。

(おか)

わとと・あおぞら

トイレ・トレーニングは、頑張らない？

先月わととで、「トイレ・トレーニング」の講座を開きました。おむつや紙パンツから布パンツへの移行は、年間を通じてママ達の大きな悩みのひとつ。”どうすすめてらいい？、いつから始めたら早くとれる？”

”出たのはわかるようだけど、教えない。親が何もしなくても、自然にとれるものかなあ〜”等

他ママのおむつ替えは、あちこちで目にする事が多いけれど、トイレ・トレーニング中の親子を見る機会がないようで、

想像できにくい実情のようです。是非、簡単なやりかたがわかれば、頑張ってみてみたい！と。

懇談後、ママたちへおすすめ絵本を紹介しました。

「ぶくちゃんの すてきなパンツ」 作ひろかわ さえこ アリス館

おかあさんが買ってくれた、すてきなパンツがだいすきになったぶくちゃん。

たびたび、じょじょー！とパンツがぬれてしまいます。

その度ままだいじょうぶ！とおかわりパンツをはかせてくれます。

だいじょうぶ、だいじょうぶ。ぬれたらかえようね〜

ママたち、頑張ってお洗濯！あとはこどもが決めるその日をたのしみに待ちましょう。

城東子育て支援センター あんと

どうしてこんなに泣くの？

赤ちゃんはよく泣きます。眠くなった、暑い、寒い、退屈、痛い、怖かった・・・という
いろいろ不快な状態をすべて泣いて表わすので、時にいろいろ手当してもなかなか泣き止まず、
ほとんど困ってしまうことがあります。なにが原因かわからないので、おかあさんは心配
が募ってしまいます。

でも、赤ちゃん自身は不快な状態にあることはわかるけれども、それがなんであるかは
わかっていないのです。おかあさんがこんなことかなと見当をつけて「つまらなくなったの
ね」「びっくりしたね」「暑かったね」と声をかけて世話をすることで、不快な状態は続い
ていても、ちょっと安心して落ち着くのではないかと思います。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

「真っ向勝負」じゃないやり方

二人目が生まれて、丸3年違いの姉妹の親になって8か月。「下の子は放っておいても、上の子を丁寧に」と寄り添ってきましたが、その頑張りも数か月で無理がたたって電池切れ。

先日、「おもしろいの(アニメ)見たい」と言い出した上の子に「今日はもう見ない!」と強く出ると、「イヤダー! 見るー!」の大泣きでつかみかかってきます。意地になって「見ない!」と私。その声にびっくりした下の子に授乳中に噛みつかれ、「もういい!」と下の子まで泣かせて大合唱のなかキッチンへ。

すると、そのうち「へへへ」「へへへ」と二人の声。互いに顔を見合わせて、「キャハハ」と笑い出し、そのまま機嫌よく遊び始めたのです。

ああ、ごめんなさい。私の負けです。(いや、あれ?結果的には良かったのか?)

無理をして寄り添うのでもなく、真っ向勝負するのでもなく、ちょっと外れたほうがうまくいくこともあるんですね。私よりも、ふたりの子どもの方が成長していました。

<ハル>

なのはなガーデン

子どもたちがお散歩しているのを温かく見守ってくれるひろしおじいちゃん。

お花を見せてくれるぎんおばあちゃん。

金魚やお人形を見せてくれる方々。

お散歩で会わないと「昨日はどうしたの?まってたよ」と温かい声をかけてくださる方々。

うれしいですね。

子どもたちとふれ合うと近所の方も笑顔がいっぱい。

もちろん子どもたちもね。

子育ては、親だけではできないこと。

たくさんの方々の愛をたくさんもらって、なのはなガーデンの子どもたちは
すくすくと大きくなっています。

(すえ)